

読んだ本 (ドクター・スース/さく・えいとうひろみ/やく) 河出書房新社

「きみの行く道」

川崎市立子母口小学校二年 ねもと 根本 ゆうと 勇杜

この本のひょうしを見て、レインボーなところを目をひかれてわくわくするお話なのか
なと思ひ手にとりました。タイトルを見て、
どんな行くみちなのかも気になりました。
しゅ人こうはすぐゆう気があった、どんな
みちでもどんだんにすすんで行くところが
すごいいい思いました。ぼくだったらぶき
なことがおきたらないてしまうけど、しゅ人
こうはなにがおこっても大じょうぶ。なやむ
ことはない。というのがすごくゆうかんでか
っこいいと思ひました。

ぼくは空手をならっています。空手の組手
のしあいであけたときに、どうしてまけてし
まったのかげんいんを考えます。そのときは
いつも自分あいに手にたたかっているの
この本のお話とつながりました。いつもうま
くわけではなく、たまにはこまることもある
と思ひます。そんなときはあせらずまつこと
も大じだし、まわりを見ることも大じだし、
前につきすすんでいく力も大じだと思ひまし
た。ぼくの行くみちは、しっかり自分で行き
たい方こうをきめて、ぶつかりながらも前
すすんでいきたいです。
ぼくの中をおしてくれてゆう気もらえ
た本でした。